



JR指宿枕崎線	宇宿駅下車、宇宿小前からシャトルバスで、大学病院前まで
市電	脇田電停下車 18番線 シャトルバスで 大学病院前まで
市バス	18番線 大学病院前下車
鹿児島交通	14番線、17番線、19番線 大学病院前下車

鹿児島大学病院 がん遺伝子診断外来 腫瘍センター がんゲノム医療部門

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
TEL.099-275-5111(代表) TEL.099-275-5731

がん遺伝子検査についてのお問合せ・相談はこちら

鹿児島大学病院 地域医療連携センター・がん相談支援センター

TEL.099-275-5970

(平日9時～17時)

がんと診断された方へ



がん遺伝子検査を 実施しています。

組織を採取して
行った検査により
悪性腫瘍（がん、肉腫など）と
判断された方



鹿児島大学病院 がん遺伝子診断外来

がんと診断された方へ

組織を採取して行った検査により悪性腫瘍（がん、肉腫など）と判断された方

当院では、
「がん遺伝子検査」を
実施しています。



この検査でわかること
患者さんそれぞれの
「がんの個性」がわかります。
治療効果が期待できる国内で
承認済みの抗がん剤や治験薬の
情報が得られます。



当院で実施している
「がん遺伝子検査」

保険診療

- NCC オンコパネル検査
- FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル検査
- FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査

自由診療

- プレシジョン検査

※1 本検査を利用しても、あなたのがんの診断や治療に有用な情報が得られない可能性もあります。

※2 本検査は治療効果が期待できる治療薬の情報を提供しますが、その治療薬の治療効果を保証するものではありません。

※3 本検査であなたのがん細胞に起こっている遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、あなたのがんにに対して承認されていない場合、薬剤の入手が出来ない、あるいは投与が出来ない可能性もあります。

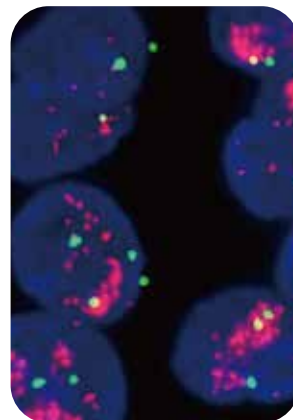
がんゲノム医療とは？

がん遺伝子が作る異常なタンパク質のみを狙い撃ちする抗がん薬（分子標的治療薬と呼ばれる）は、従来の抗がん剤治療を根底から変えました。

現在、遺伝子を解析することは、既に一部のがんの診断と治療に必要不可欠なものになっています。

多くのがんは、多数の遺伝子異常が関与していることがわかっており、その遺伝子 1 つ 1 つを調べていては正確な診断と治療に辿り着くには時間がかかります。

100 以上の治療に関連するがん遺伝子を網羅的に調べ、個別に最も適した抗がん剤の情報を提供するのが「がん遺伝子パネル検査」による「がんゲノム医療」です。



保険診療

標準治療がない（原発不明がんや希少がん）固形がんの患者さんや
標準治療が行われているが十分な効果が得られず治療が終了
見込みの（もしくは終了した）患者さんが受けられる検査

病理組織検体（腫瘍細胞）で行う検査

- NCC オンコパネル検査
- FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル検査

対象となる患者さん

- 検査に使用できるがん細胞を含む**3年以内**の病理検体（腫瘍細胞）がある患者さん

血液検体で行う検査

- FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査

対象となる患者さん

- 手術や生検でがん細胞を採ることが出来ない患者さん
- 病理組織検体（腫瘍細胞）を用いた検査を受けたが、検査が不成立（腫瘍の量や品質に問題があり検査が中止）となった患者さん

区分	NCCオンコパネル検査	FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル検査	FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査
検査対象遺伝子数	124	324	
病理検体の必要性	要	要	不要
採血の有無	あり	なし	あり
検査期間（最短）	7週間		
検査費用	560,000円（税込）※詳細金額はQ&A参照		

※1 保険診療のため、検査費用は560,000円のうち1割～3割負担となります。

検査費用は、検査説明時に80,000円、検査結果説明時に480,000円をご請求致します。

※2 高額療養費制度により、費用負担は少なくなります。

※3 DNA抽出困難等で検査が中止となった場合には、検査説明時の80,000円のみご請求致します。

自由診療

がん種・保険条件は問わず固形がん・血液がんの患者さんが
受けられる検査

病理組織検体(腫瘍細胞)で行う検査

・プレジジョン検査

対象となる患者さん

- 検査に使用できるがん細胞を含む**5年以内**の病理検体がある患者さん
- 検査当日、入院や当院・当院以外の外来受診をしていない患者さん
(歯科も含みます)

※混合診療となるため、当日保険診療はできません

それぞれの 検査の特徴

NCCオンコパネル検査

- 精度の高い腫瘍変異負荷 (TMB) スコアの算出
- 一部の生殖細胞系列遺伝子変異の検出
- 肺がん特異的な融合遺伝子の検出
- マイクロサテライト不安定性 (MSI) の判定

日本の会社が
開発した検査

FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル検査 FoundationOne® Liquid CDxがんゲノムプロファイル検査

- コンパニオン診断機能
- マイクロサテライト不安定性 (MSI) の判定
- 精度の高い腫瘍変異負荷 (TMB) スコアの算出
- 肺がん特異的な融合遺伝子の検出

米国の会社が
開発した検査

プレジジョン検査

- マイクロサテライト不安定性 (MSI) の判定
- 精度の高い腫瘍変異負荷 (TMB) スコアの算出
- 精度の高い遺伝子コピー数変化 (CNV) の算出

保険診療適応外でも、
5年以内の検体があれば
検査可能

区分	当院で手術を受けた方	当院以外で手術を受けた方
検査対象遺伝子数	160	
検査期間(最短)	3週間	
検査費用	410,463円(税込)	520,463円(税込)
がん遺伝子診断料 (相談のみの場合)	35,648円(税込)	

※1 当院で手術を受けた方と当院以外で手術を受けた方では料金が異なります。

※2 DNA抽出困難等で検査が中止となった場合には、検査の段階により返金がございます。

検査を受けることで役立つこと

患者さんのがん細胞に見られる遺伝子の異常が明らかとなり、がんの個性がわかります。

治療効果が期待できる国内で承認済みの治療薬の情報が得られます。

治療効果が期待できる国内で臨床試験（治験等）中の治療薬の情報が得られます。

治療効果が期待できる国内未承認、海外で承認済みあるいは臨床試験（治験等）の治療薬の情報が得られます。

重要

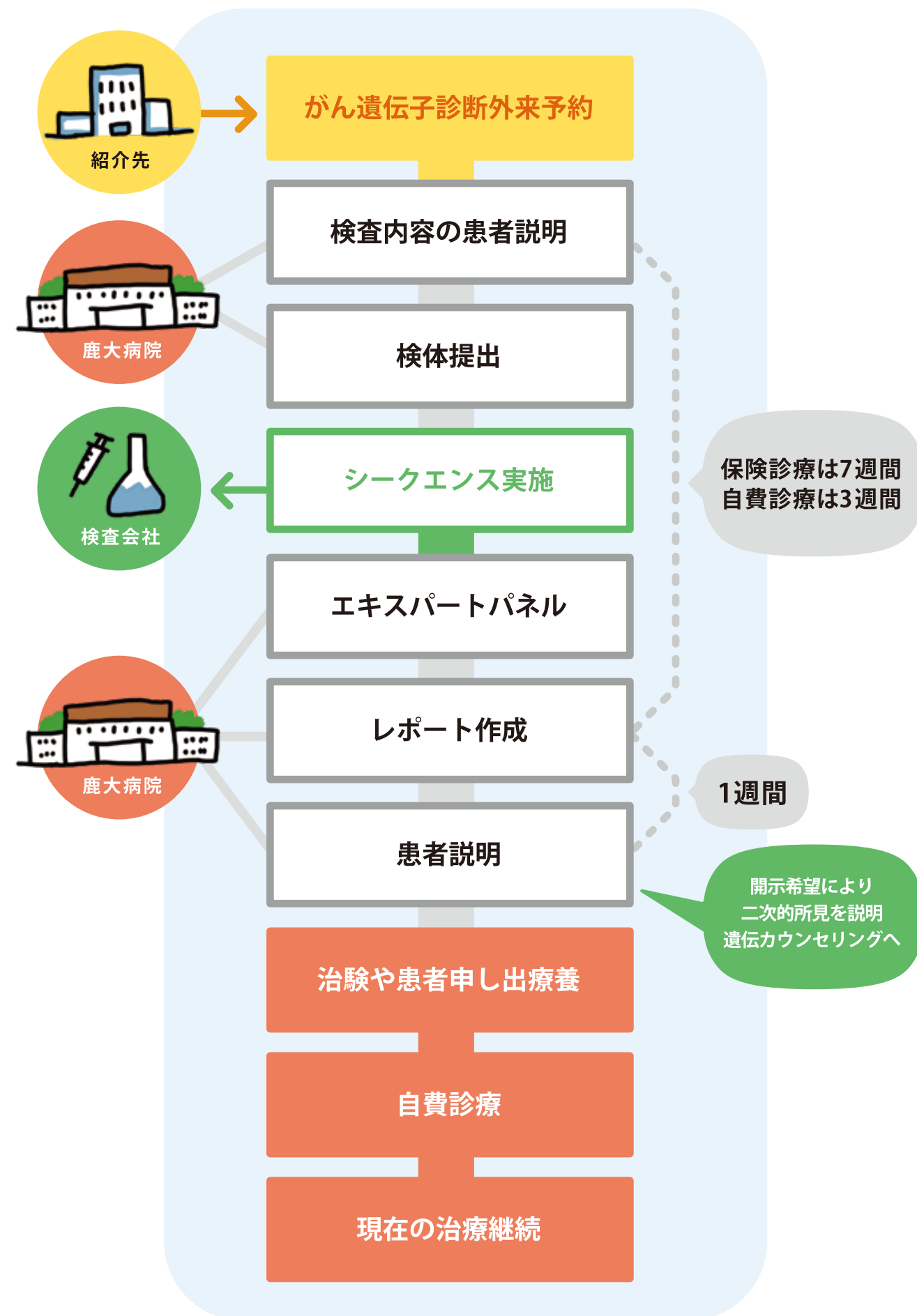
本検査を受ける際の注意点

1. 本検査を利用しても、あなたのがんの診断や治療に有用な情報が得られない可能性があります。
2. 治療効果が期待できる治療薬の情報を提供しますが、その治療薬の治療効果を保証するものではありません。

3. 本検査であなたのがん細胞で起こっている遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、あなたのがんに対して承認されていない※ 場合、薬剤の入手が出来ない、あるいは投与が出来ない可能性があります。また、治療費は自己負担となります。

※ 保険診療で使えない薬剤または他のがんや病気では保険診療で使えるが、あなたのがんでは使えない薬剤を指します。

がん遺伝子検査の流れ



予約から遺伝子解析結果報告までの流れ



1. 相談・予約

- 現在通院中の担当医へがん遺伝子検査について相談をし、病院を介して「がん遺伝子診断外来」の予約を取ります。
- 現在通院中の病院にて、診療情報提供書、病理検体、遺伝子パネル検査依頼書、病理組織報告書を準備してください。（郵送もしくは当日患者持参可能）

※病理検体は提出方法が決まっていますので必ずご確認ください。

2. 外来受診 (1回目)

- がん遺伝子検査についての説明を受け、検査同意書に署名をします。
- NCC オンコパネル検査・FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査（保険診療）・プレシジョン検査（自由診療）の場合は、がん遺伝子検査用の採血を行います。

3. 検査

- お預かりした病理検体は、病理部で評価し、がん遺伝子検査に適しているかどうか判断します。
- 検査会社に検体を発送し、がん遺伝子検査が行われます。

※病理検体、血液検体ともに検体量の不足や質に問題がある場合には検査不成立となる場合がありますが再提出可能です。病理検体の場合は、再生検が必要となる事もありますが、再生検が困難な場合には血液検体で検査を受けることができます。

4. エキスパート パネル開催

- 遺伝子解析結果が当院に返送されてきたら、がん専門医で残された標準治療の適合性や有効な薬剤情報、治験や臨床試験状況などの話し合いをします。

5. 外来受診 (2回目)

- 保険診療は 8 週間後、自由診療は 4 週間後に再診となります。
- がん遺伝子検査の結果及びそれに基づく薬剤情報、治験や臨床試験状況について説明します。
- 検査の結果や得られた薬剤情報は、現在通院中の主治医にも報告します。
- 二次的所見がみつかった場合には、必要に応じて遺伝カウンセリングのご案内をさせていただきます。

※二次的所見とは、本来の検査の目的は、がんの個別化治療のための「一次的所見」を見つけることですが、本来の目的とは別に、がんになりやすい遺伝子を有している事がわかる場合があります。これを「二次的所見」といいます。

Q & A



Q がん遺伝子パネル検査とは何ですか？

A

患者さんのがん組織から核酸（DNA）を取り出し、がんの発生に関わる複数の「がん関連遺伝子」の変異があるかどうかを一度にまとめて調べる検査です。

検査の対象となる遺伝子のセットのことを「パネル」と呼びパネルには通常、100種類以上の遺伝子が含まれます。



Q 検査を受けるにはどうしたら良いですか？

A

まずは現在通院中の担当医へ「がん遺伝子診断外来」受診を希望することをお伝えください。

その後、担当医を介して当院の「がん遺伝子診断外来」の予約をとっていただきます。※患者様からの直接の予約はお受けできません。



Q 検査はいつでも受けられますか？

A

検査は完全予約制となります。毎週月・木曜日（14:00～、15:30～）1日2名ずつの外来を行っています。



Q 検査の対象となるのはどんな方ですか？

A

保険診療で行う検査の場合は、局所の状態や転移により切除不能な進行がんが対象です。そのうち、発症頻度も高く標準治療が決まっているがん種の場合には、その標準治療が終了している方が対象となります。希少がんのように発症頻度の低いがん種で標準治療がない場合には、治療開始時に検査を受けることが可能です。

自由診療で行う検査の場合は、悪性の固形腫瘍であれば診断名や病期は関係ありません。



Q 何を使って検査をするのですか？

A

過去に行った手術や生検で採取した組織もしくは採血で採った血液を使用します。



Q 検査結果に基づいた治療を受けられる割合はどのくらいですか？

A

当院での検査結果では、これまでに検査を受けた患者さんのうち約8割の方が、がんの原因となる遺伝子が見つかっています。また、3～4割の方が、薬物療法に関する何らかの情報が見つかります。しかしながら、候補となる薬剤がまだ開発・治験中の場合や日本では入手困難な場合もあり、現段階で遺伝子異常に基づく実際の薬物療法が可能だったのは1割強の患者さんです。



Q がん遺伝子検査の相談のみもできますか？

A

検査に関するご相談や検査説明のみも可能です。その際には、がん遺伝子検査相談料として35,648円が必要となります。



Q 保険費用の患者負担割合はどのくらいですか？

A

検査費用は56万円で、初診時と再診時の2回に分けて請求させていただきます。初診時に8万円（1割：8千円・2割：1万6千円・3割：2万4千円）、再診時に48万円（1割：4万8千円・2割：9万6千円・3割：14万4千円）となります。また、高額療養費制度の対象となるため、費用負担は少なくなります。詳細は病院窓口にお尋ねください。



Q 家族のみの受診は可能ですか？

A

患者さんご本人の受診が必要となります。

